

# ビワ生育情報

千葉県  
平成28年5月号

## 平成28年4月の気象

平成28年4月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は、すべての半旬で平年を上回った。月平均気温は15.4℃で、平年より1.5℃、前年より1.6℃高かった。

降水量は、第1、第2、第5及び第6半旬で平年を上回った。月合計は198mmで、平年の115%、前年の119%であった。

日照時間は、第4半旬を除く5半旬で平年を下回り、月合計は126時間で、平年の73%、前年の97%であった。

表1 平成28年4月の気象(暖地園芸研究所)

半旬	気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	13.0	11.9	13.1	29	28	30	3	27	12
2	16.2	13.0	9.2	66	28	40	21	28	12
3	14.0	13.4	12.0	22	27	59	21	28	15
4	16.4	14.2	15.5	4	29	31	36	28	28
5	16.8	15.1	15.9	43	39	7	18	30	32
6	16.2	15.7	17.2	34	22	0	26	31	32
平均合計	15.4	13.9	13.8	198	172	167	126	172	130

## 6月の作業

6月前半には梅雨に入り、曇雨天の日が多くなる。5月に引き続き収穫が行われ、晩生の「田中」でも6月上旬には終了する。夏肥(礼肥)は、収穫後の樹勢をすみやかに回復させるために、適期に施用する。台木の播種は、梅雨明け前に発芽させるように、早めに行うことが肝要である。

### 収穫

5月下旬は収穫最盛期に当たる。安房農業事務所から発信されている収穫盛期予測情報を参考に適期収穫に努める。市場において他産地との競合が激しくなっているため、品質の良い完熟果を出荷して、市場、消費者の信頼を得るように心がけたい。

### 夏肥の施用

夏肥は樹勢の回復及び夏枝の伸長と花芽分化を促すために必要である。収穫直後に速効性肥料を用いる。10a当たり施肥量(成分量)は、耕土の浅い園で窒素5kg、りん酸4kg、加里4kg、耕土の深い園でそれぞれ5kg、3kg、3kgを施用する。

### 果実の発育

5月1日現在の果径は表2に示した。横径は「楠」が3.44cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ3.63cm、3.28cmであった。本年の横径は、3品種共に平年より19

～26%、前年より3～11%大きかった。

縦径は「楠」が3.89cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ3.63cm、3.87cmであった。本年の縦径は、3品種共に平年より22～34%、前年より9～26%大きかった。

果形指数は「楠」が0.88、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ1.00、0.85で、「楠」及び「田中」は平年より小さく、「大房」は平年より大きかった。果形を平年と比較すると、「楠」及び「田中」は縦長、「大房」は横長の傾向である。

本年は3品種共に、開花が早く、開花後の気温が高く推移したため、5月1日時点の果実の発育は平年より進んでいる。気象庁によると、5月中の気温は平年より高く推移することが予想されており、更に生育が進むことも考えられる。十分に肥大する前に着色し始める可能性もあるので、収穫適期を逃さないように注意が必要である。暖地園芸研究所では早生品種の収穫が5月上旬から始まっており、中生品種の収穫も平年より早いことが予想される。

本年は平年に比べ、着花房率が高かったが、寒害を被った幼果は多かったので、着果量はやや少ない予想である。病害虫ではクワゴマダラヒトリの発生が平年よりやや多く、果実の被害程度も平年よりやや多い。果樹カメムシ類の越冬量は、南房総市ほか県南地域で多発生年と同様の傾向を示すため、今後の発生予察情報を参考にす。カメムシの発生の多い園では、ビワ園への飛来に注意を要し、薬剤防除に取り組む。防除に際しては千葉県農作物病害虫雑草防除指針に従う。

表2 果実の発育（5月1日の果径）

品 種	調査地	横径(cm)			縦径(cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	暖地園研	3.44	2.90	3.10	3.89	3.09	3.09	0.88	0.94	1.00
	青 木	3.39	2.98	3.33	3.53	3.05	3.41	0.96	0.98	0.98
大 房	南 無 谷	3.68	2.96	3.26	3.63	3.01	3.38	1.01	0.98	0.97
	暖地園研	3.82	2.75	3.38	3.74	2.87	3.23	1.02	0.96	1.05
	平 均	3.63	2.88	3.32	3.63	2.97	3.34	1.00	0.97	1.00
田 中	青 木	3.24	2.70	3.04	3.81	2.98	3.23	0.85	0.91	0.94
	南 無 谷	3.29	2.58	3.34	4.09	2.84	3.81	0.80	0.91	0.88
	暖地園研	3.32	2.62	3.13	3.72	2.85	3.48	0.89	0.92	0.90
	平 均	3.28	2.64	3.17	3.87	2.88	3.51	0.85	0.92	0.91

果形指数：横径／縦径

平年：昭和61年～平成27年の30年間の平均。

南無谷は平成10年～平成27年の17年間の平均。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>